

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成26年12月4日 (2014.12.4)

【公表番号】特表2013-542942(P2013-542942A)

【公表日】平成25年11月28日 (2013.11.28)

【年通号数】公開・登録公報2013-064

【出願番号】特願2013-535034(P2013-535034)

【国際特許分類】

C 0 7 K 14/20 (2006.01)

C 0 7 K 14/195 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 0 7 K 16/12 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 14/20 Z N A

C 0 7 K 14/195

C 0 7 K 19/00

C 0 7 K 16/12

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 P 31/04

A 6 1 K 39/395 N

G 0 1 N 33/53 N

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月10日 (2014.10.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

2 種以上の O s p C タイプからの O s p C ループ 5 領域エピトープまたは O s p C アルファヘリックス 5 領域エピトープ、または O s p C ループ 5 領域エピトープおよび O s p C アルファヘリックス 5 領域エピトープの両者の組合せのアミノ酸配列を含むキメラ組換えタンパク質。

【請求項 2】

前記アミノ酸配列が、5 乃至 13 種の O s p C タイプからの O s p C ループ 5 領域エピトープ、O s p C アルファヘリックス 5 領域エピトープ、または O s p C ループ 5 領域エピトープおよび O s p C アルファヘリックス 5 領域エピトープの組合せを含む請求項 1 記載のキメラ組換えタンパク質。

【請求項 3】

前記アミノ酸配列が、同一の O s p C タイプからの O s p C ループ 5 領域エピトープお

よび O s p C アルファヘリックス 5 領域エピトープを含む請求項 1 または請求項 2 記載のキメラ組換えタンパク質。

【請求項 4】

ヒトにおける侵襲性ボレリア感染と関連している請求項 1 - 4 のいずれかに記載のキメラ組換えタンパク質。

【請求項 5】

前記 O s p C タイプを S m a r、P L i、H 1 3、P F i M、S L 1 0、P M i t、P K i、P b e s、H T 2 2、P k o、P L j 7、V S 4 6 1、D K 1 5、H T 2 5、A、7 2 a、F、E、M、D、U、I、L、H、S z i d、P H e z、P W a、B、K、N、C および T から構成される群から選択した請求項 1 - 4 いずれか一つに記載のキメラ組換えタンパク質。

【請求項 6】

O s p C タイプを、F、M、D、I、H、N および C から成る群から選んだ請求項 1 - 4 のいずれかに記載のキメラ組換えタンパク質。

【請求項 7】

前記 アミノ酸配列が O s p C タイプ F、M、D、I、H、N および C からの O s p C ループ 5 領域エピトープおよび O s p C アルファヘリックス 5 領域エピトープを含む請求項 1 記載のキメラ組換えタンパク質。

【請求項 8】

前記アミノ酸配列が配列番号 2 6 3 との間で少なくとも 9 5 % の同一性を有する請求項 1 - 7 記載のキメラ組換えタンパク質。

【請求項 9】

前記 アミノ酸配列が、配列番号 2 6 3 のアミノ酸配列を含む請求項 8 記載のキメラ組換えタンパク質。

【請求項 10】

請求項 1 - 9 のいずれか一つに記載のキメラ組換えタンパク質を含み、個体におけるボレリア ( B o r r e l i a ) 感染に対する免疫反応を誘発する組成物。

【請求項 11】

前記 個体がヒトまたはイヌである請求項 10 記載の組成物。

【請求項 12】

ボレリア ( B o r r e l i a ) 感染に対して個体にワクチン接種するための薬剤の調製への請求項 1 - 9 記載のキメラ組換えタンパク質の使用。

【請求項 13】

前記 個体がヒトまたはイヌである請求項 12 記載のキメラ組換えタンパク質の使用。